資料編

策定経過

年月日	内容
2025 年	
４月 21 日	第１回桜川市総合計画策定委員会 策定方針について
５月 27 日	第２回定例庁議 策定方針について
６月 10 日	総務常任委員会 策定方針について
６月 11 日	議会全員協議会 策定方針について
７月 29 日	第１回桜川市総合計画審議会 策定に関する諮問 策定方針について
９月～10 月	小中学生アンケート
11 月～12 月	市民アンケート
12 月６日	第１回市民ワーキング会議
12 月 20 日	第２回市民ワーキング会議
2026 年	
１月 24 日	第３回市民ワーキング会議
２月９日	第２回桜川市総合計画審議会 策定経過について（市民アンケート・小中学生アンケート・市民ワーキング） 基本構想について
２月 17 日	第２回桜川市総合計画策定委員会 策定経過について（市民アンケート・小中学生アンケート・市民ワーキング）
４月 28 日	第３回桜川市総合計画策定委員会 ワーキングの設置について
５月 12 日	第３回桜川市総合計画審議会 基本構想（案）について ワーキングについて
５月 26 日	第２回定例庁議 基本構想（案）に係るパブリックコメントの実施について
６月３日	総務常任委員会 基本構想（案）について
６月４日	議会全員協議会 基本構想（案）について
６月 13 日	分野別合同（市民・職員）ワーキング　こども・活力
６月 20 日	分野別合同（市民・職員）ワーキング　魅力・健やか
６月 28 日	分野別合同（市民・職員）ワーキング　地域社会・持続可能性
７月１日	パブリックコメント実施（～2026 年７月 30 日） 基本構想（案）について
７月 24 日	分野別職員ワーキング　こども・健やか
７月 27 日	分野別職員ワーキング　活力・地域社会
７月 29 日	分野別職員ワーキング　魅力・持続可能性

2026 年	
８月４日	第４回桜川市総合計画審議会 基本構想（案）について 基本計画について
８月 25 日	第５回定例庁議 基本構想（案）について パブリックコメント実施結果報告について
８月 25 日	第４回桜川市総合計画策定委員会 基本計画の策定について
10 月 13 日	総務常任委員会 桜川市第３次総合計画基本構想について
10 月 14 日	議会全員協議会 桜川市第３次総合計画基本構想について
10 月 23 日	桜川市議会定例会 桜川市第３次総合計画基本構想について
11 月 19 日	第５回桜川市総合計画審議会 前期基本計画（案）について
11 月 24 日	第８回定例庁議 前期基本計画（案）に係るパブリックコメントの実施について
12 月２日	総務常任委員会 前期基本計画（案）について
12 月８日	パブリックコメント実施（～2027 年１月６日） 前期基本構想（案）について
12 月 10 日	議会全員協議会 前期基本計画（案）について
12 月 20 日～22 日	個別市民説明会 桜川生涯学習センター「さくらす」、桜川市役所真壁庁舎、桜川市役所大和庁舎
2027 年	
１月 26 日	第 10 回定例庁議 前期基本計画（案）のパブリックコメントの実施結果について
１月 26 日	第５回桜川市総合計画策定委員会 策定経過について
２月１日	第６回桜川市総合計画審議会 桜川市第３次総合計画の策定について市長に答申
２月 16 日	第 11 回定例庁議 桜川市第３次総合計画の報告
３月　　日	総務常任委員会 桜川市第３次総合計画の報告
３月　　日	議会全員協議会 桜川市第３次総合計画の報告

桜川市総合計画審議会　委員名簿

敬称略

区分	職名	委員名	備考
市議会議員	桜川市議会総務常任委員会委員長	飯島洋省	～2026 年９月 23 日
	桜川市議会総務常任委員会委員長	萩原剛志	2026 年９月 29 日～
	桜川市議会文教厚生常任委員会副委員長	中田拓也	～2026 年９月 23 日
	桜川市議会文教厚生常任委員会委員長	中田拓也	2026 年９月 29 日～
	桜川市議会建設経済常任委員会委員長	軽部徹	～2026 年９月 23 日
	桜川市議会建設経済常任委員会委員長	小高友徳	2026 年９月 29 日～
識見者	桜川市農業委員会会長	酒寄一郎	
	桜川市教育委員会教育長職務代理者	小島香織	～2025 年 12 月 22 日
	桜川市教育委員会教育長職務代理者	宇佐美徹	2025 年 12 月 23 日～ 2026 年 11 月 24 日
	桜川市教育委員会教育長職務代理者	舘野仁一	2026 年 11 月 25 日～
	桜川市監査委員	古橋伸夫	～2025 年 12 月７日
	桜川市監査委員	小泉達哉	2025 年 12 月９日～
	桜川市都市計画審議会会長	武村実	
	筑波大学社会工学域教授	藤川昌樹	会長
	茨城新聞社筑西支社長	瀧山亜紀	～2026 年３月 31 日
	茨城新聞社筑西支社長	中山美幸	2026 年４月１日～
各種団体	北つくば農業協同組合代表理事組合長	川津修	
	羽黒石材商工業協同組合理事長	長谷川正一	～2026 年５月 14 日
	羽黒石材商工業協同組合理事長	堀義己	2026 年５月 15 日～
	真壁石材協同組合理事長	林清	
	桜川市商工会会長	皆川光吉	
	桜川市観光協会会長	橋本慶晴	
	桜川市区長会連合会会長	猪瀬幸己	副会長 ～2026 年５月 27 日
	桜川市区長会連合会会長	渡邊和司	副会長 2026 年５月 28 日～
	桜川市消防団団長	酒寄雅則	
	桜川市ＰＴＡ連絡協議会顧問	塙絵美	
	桜川市交通安全母の会会長	小川よし子	
	桜川市更生保護女性会会長	市村香	
	桜川市民生委員児童委員協議会役員	飯島節子	
	桜川市くらしの会会長	大山イク	
	桜川市食生活改善推進員協議会会長・顧問	藤野英子	
市職員	桜川市副市長	髙橋哲	
	桜川市教育長	稲川善成	～2026 年３月 31 日
	桜川市教育長	市村志保	2026 年４月１日～

桜川市総合計画審議会条例

平成１７年１２月１５日
条例第１５６号

（設置）

第１条　地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第１３８条の４第３項の規定に基づき、桜川市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（所掌事務）

第２条　審議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について必要な調査審議し、その結果を市長に答申するものとする。

（１）総合振興の基本構想及び基本計画に関すること。

（２）前号に掲げるもののほか総合振興に関し必要と認めること。

（組織）

第３条　審議会は委員２５人以内で組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

（１）市議会議員

（２）識見を有する者

（３）各種団体の役員

（４）市職員

３　委員は、非常勤とする。

（委員の任期）

第４条　委員の任期は、当該諮問にかかる事案の審議が終了したときは、解任されるものとする。

（会長及び副会長）

第５条　審議会に会長及び副会長各１人を置く。

２　会長及び副会長は、委員の互選により定める。

３　会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第６条　審議会の会議（以下「会議」という。）は必要に応じて会長が招集し、会議の議長となる。

２　会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

３　会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

４　会長は、会議において必要と認めるときは、委員以外の者に対し、その出席を求め、意見を聴取し、又は必要な資料等を提出させることができる。

（庶務）

第７条　審議会の庶務は、企画課において処理する。

（委任）

第８条　この条例に定めるもののほか審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

諮問

桜企第 46 号
令和 7 年（2025 年）7 月 29 日

桜川市総合計画審議会　会長　様

桜川市長　大 塚　秀 喜

桜川市第３次総合計画策定に関する諮問について

桜川市第３次総合計画の策定について、桜川市総合計画審議会条例（平成 17 年桜川市条例第 156 号）第２条の規定に基づき諮問いたします。

答申

市民アンケートの概要

調査の概要

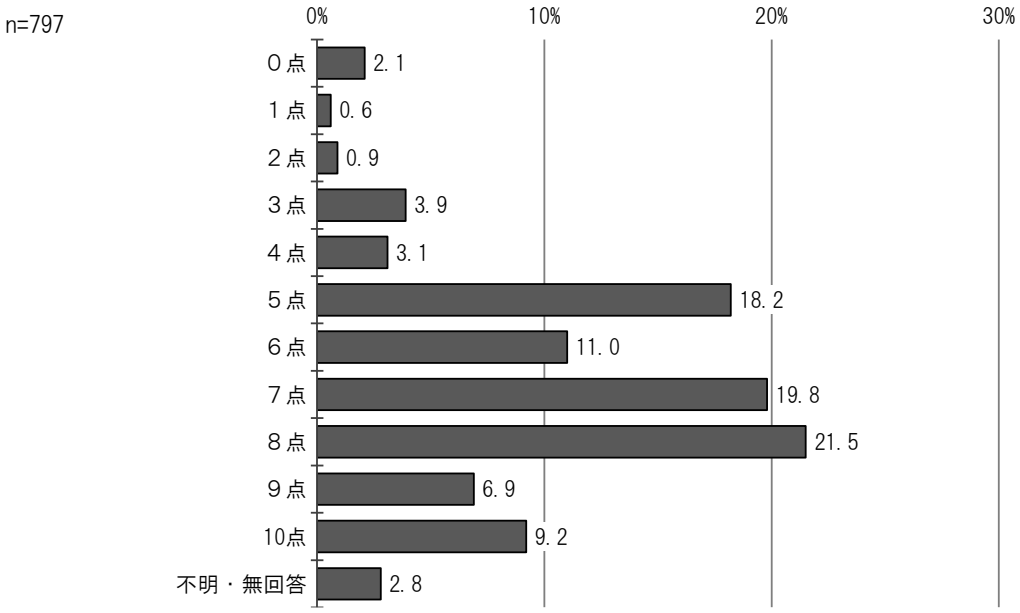
調査目的	「桜川市第３次総合計画」の策定に当たり、第２次総合計画の進捗状況を把握するとともに、まちづくりに対する市民の皆様のご意見やご要望をうかがい、計画策定のための基礎資料を得ることで、今後の行政運営に役立てることを目的に実施しました。
実施概要	18 歳以上 79 歳以下の市民より 2,000 件を無作為抽出し、郵送により調査票を配布しました。回答は郵送又はインターネットにて実施し、797 件の回答があり、回収率は 39.9%でした。
調査期間	2025 年 11 月～12 月

調査結果の概要（抜粋）

➢ 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか　花の指標

現在の幸せの程度についてみると、「8点」が 21.5%と最も多く、次いで「7点」が 19.8%、「5点」が 18.2%となっています。

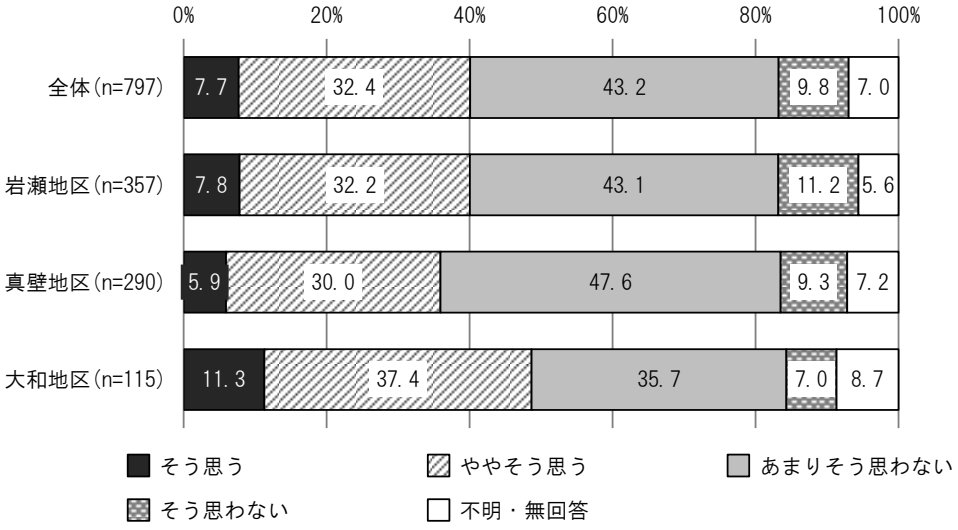
平均点は、6.67 点となっています。



➢　桜川市は子育てしやすいまちだと思いますか　土の指標Ⅰ－①

桜川市は子育てしやすいまちだと思うかについてみると、全体では「あまりそう思わない」が 43.2%と最も多く、次いで「ややそう思う」が 32.4%、「そう思わない」が 9.8%となっています。

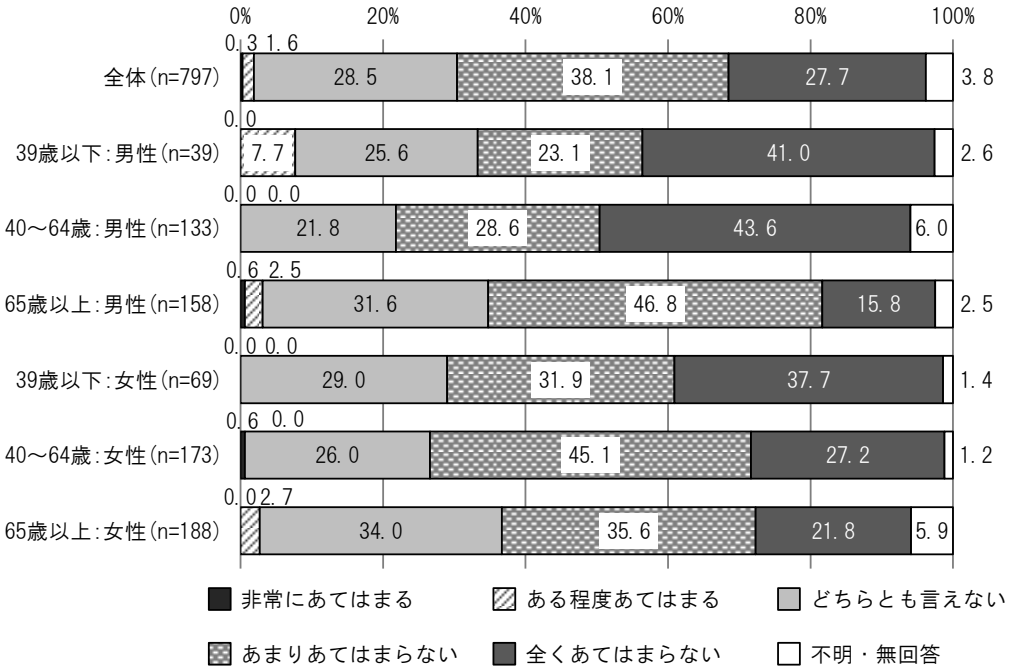
地区別にみると、〈大和地区〉では、「そう思う」「ややそう思う」が全体と比べて高くなっています。



➢　あなたが暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすいと思いますか　土の指標Ⅱ－③

暮らしている地域でやりたい仕事を見つけやすいと思うかについてみると、全体では「あまりあてはまらない」が 38.1%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が 28.5%、「全くあてはまらない」が 27.7%となっています。

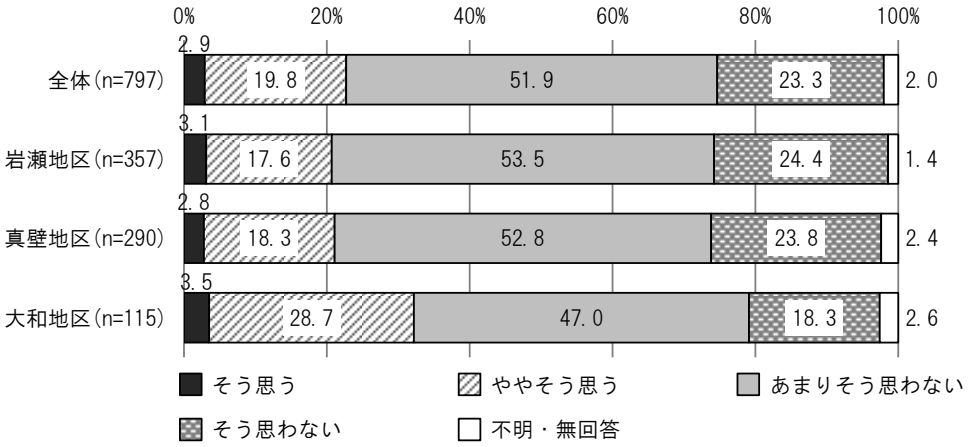
性年代別にみると、39 歳以下や 40～64 歳の男性で、「全くあてはまらない」が多くなっています。



➢　あなたは誰もが（障がい者、高齢者、幼児等を含む）市内の道路を安全に通行できていると思いますか　土の指標Ⅱ－④

誰もが市内の道路を安全に通行できているかについてみると、全体では「あまりそう思わない」が 51.9%と最も多く、次いで「そう思わない」が 23.3%、「ややそう思う」が 19.8%となっています。

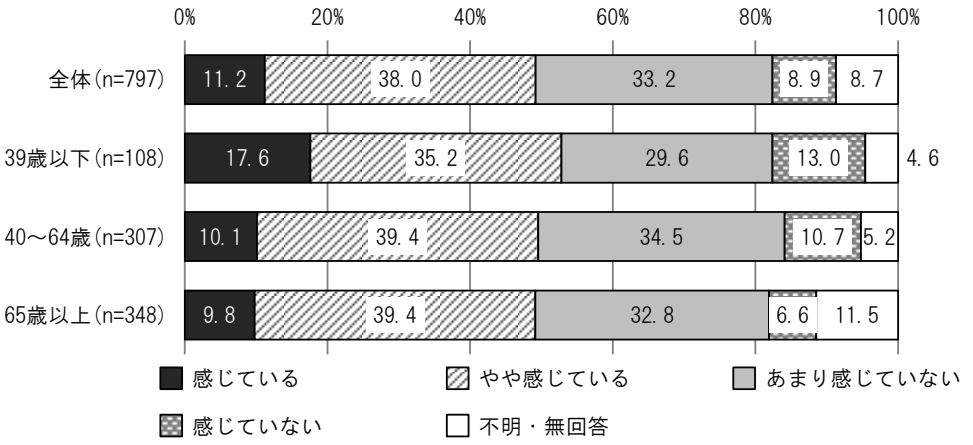
地区別にみると、大和地区では「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が 32.2%となっており、全体と比べて高くなっています。



➢　あなたは郷土の伝統文化・行事や文化財に愛着心や誇りを感じていますか　土の指標Ⅲ－①

郷土の伝統文化･行事や文化財に愛着心や誇りを感じているかについてみると、全体では「やや感じている」が 38.0%と最も多く、次いで「あまり感じていない」が 33.2%、「感じている」が 11.2%となっています。

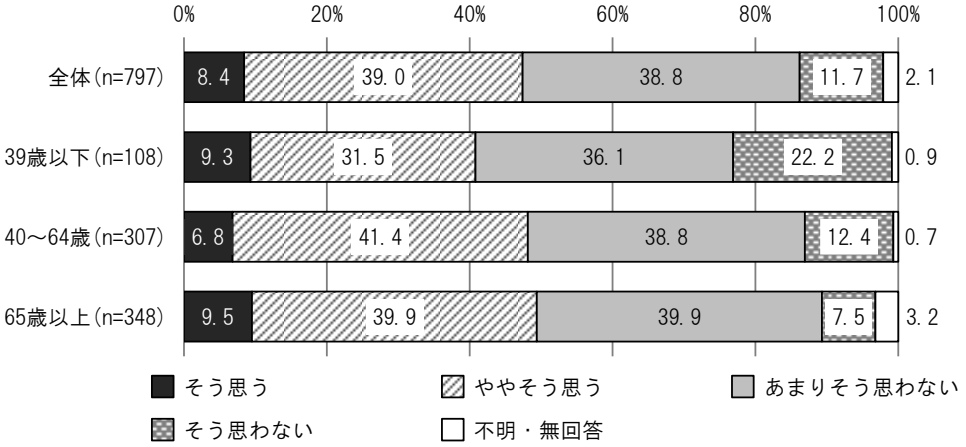
年代別にみると、39 歳以下では「感じている」が全体に比べ高くなっています。



➢　桜川市の観光スポットやイベントを、友人や知人に勧めたいと思いますか　土の指標Ⅲ－③

桜川市の観光スポットやイベントを友人や知人に勧めたいと思うかについてみると、全体では「ややそう思う」と「あまりそう思わない」がいずれも4割弱となっています。

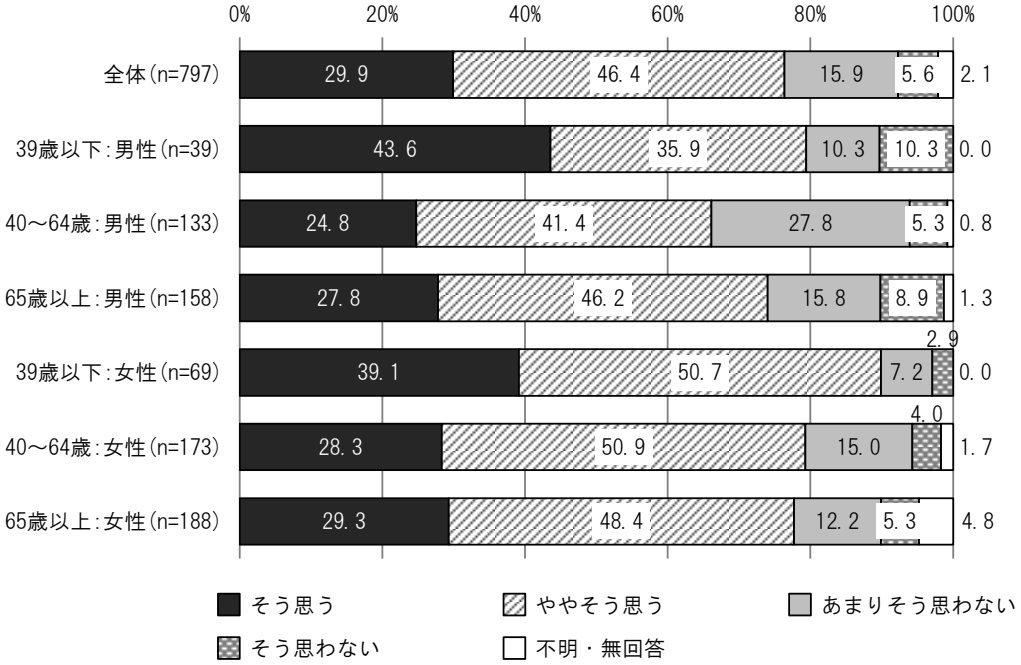
観光スポットやイベントを勧めたいと思うかについて年代別にみると、39 歳以下では「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が 40.8%となっており、全体と比べて低くなっています。



➢　あなたは、自分自身が健康で元気に暮らしていると思いますか　幹の指標Ⅳ

自分自身が健康で元気に暮らしていると思うかについてみると、全体では「ややそう思う」が 46.4%と最も多く、次いで「そう思う」が 29.9%、「あまりそう思わない」が 15.9%となっています。

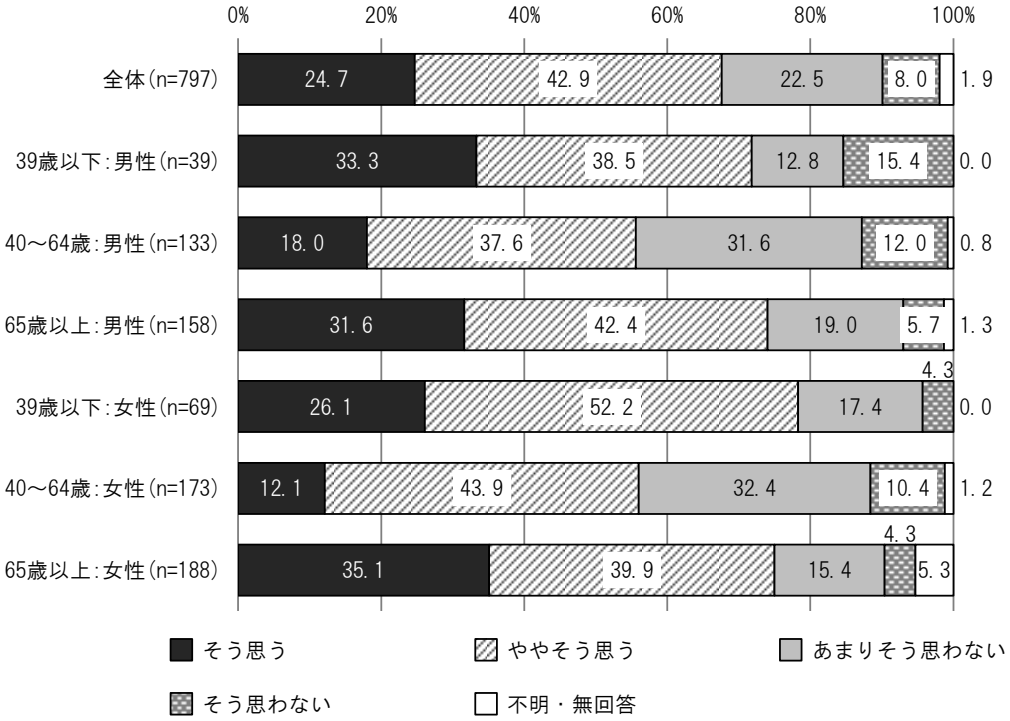
性年代別にみると、40～64 歳の男性で「そう思う」「ややそう思う」の合計が 70%を下回っています。



➢　地域（市内及び近隣地域）で適切な医療が受けられていると思いますか　土の指標Ⅳ－③

地域（市内及び近隣地域）で適切な医療が受けられていると思うかについてみると、全体では「ややそう思う」が 42.9%と最も多く、次いで「そう思う」が 24.7%、「あまりそう思わない」が 22.5%となっています。

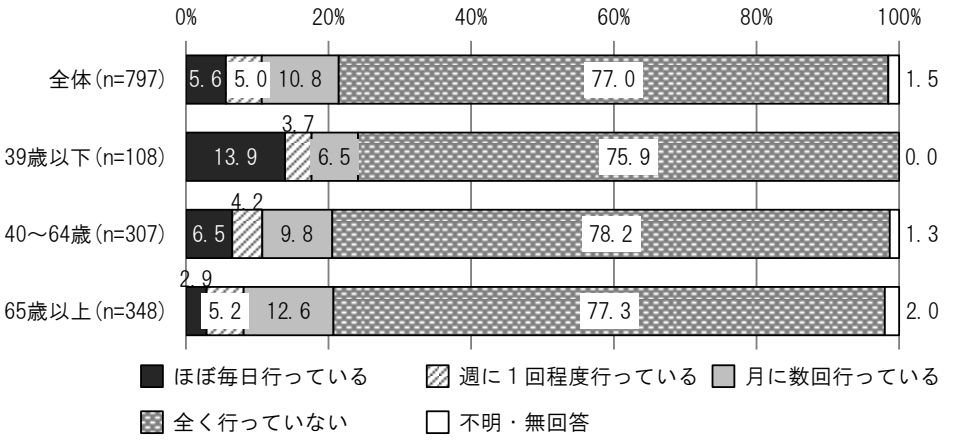
性年代別にみると、40～64 歳の男女で「そう思う」「ややそう思う」の合計が 60%を下回っています。



➢　あなたは日頃から何らかの学習活動を行っていますか　土の指標Ⅳ－④

日頃から何らかの学習活動を行っているかについてみると、全体では「全く行っていない」が 77.0%と最も多く、『月に数回以上行っている』割合の合計は 21.4%となっています。

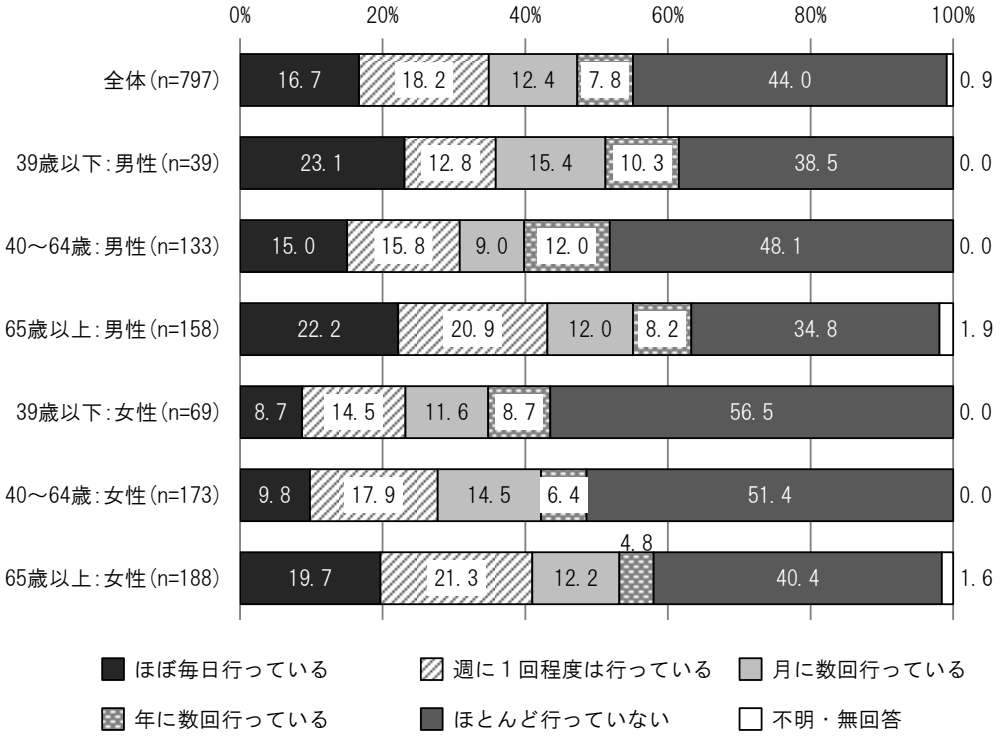
日頃から何らかの学習活動を行っているかについて年代別にみると、39 歳以下で「ほぼ毎日行っている」が 13.9%と全体に比べ高くなっています。



➢　あなたは、日頃から何らかの運動やスポーツを行っていますか　土の指標Ⅳ－⑤

日頃から何らかの運動やスポーツを行っているかについてみると、全体では「ほとんど行っていない」が44.0%と最も多く、『月に数回以上行っている』割合の合計は 47.3%となっています。

性年代別にみると、40～64 歳の男性と 39 歳以下の女性で『月に数回以上行っている』割合が 40%以下となっています。

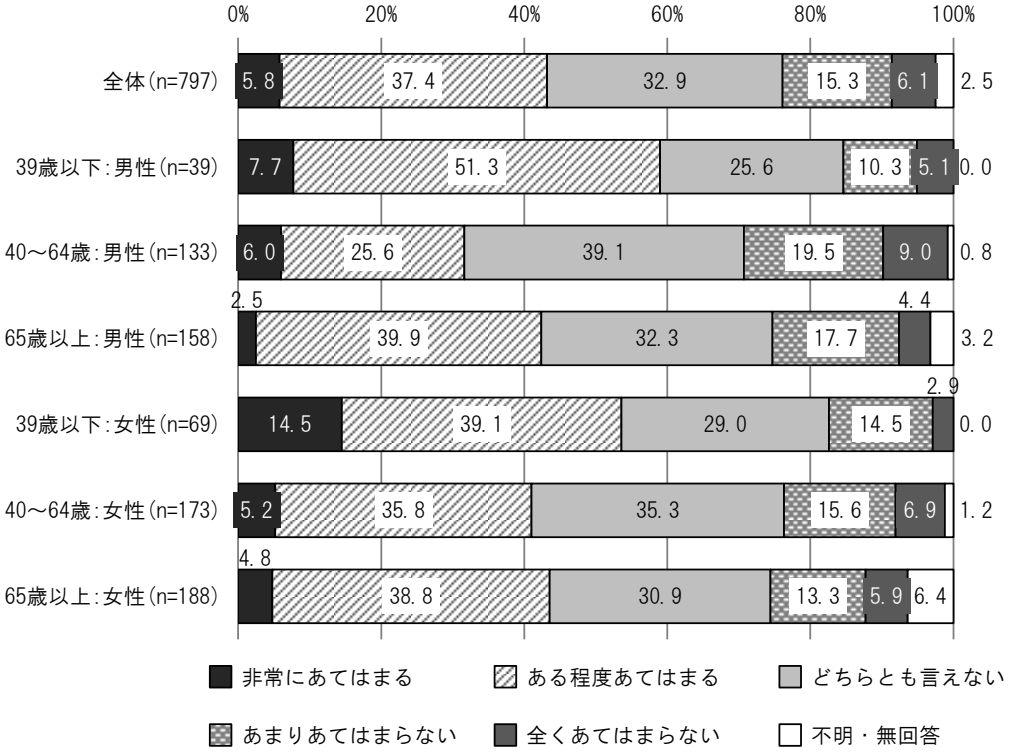


➢　暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいると思いますか

土の指標Ⅴ－①

暮らしている地域には困ったときに相談できる人が身近にいると思うかについてみると、全体では「ある程度あてはまる」が 37.4%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が 32.9%、「あまりあてはまらない」が 15.3%となっています。

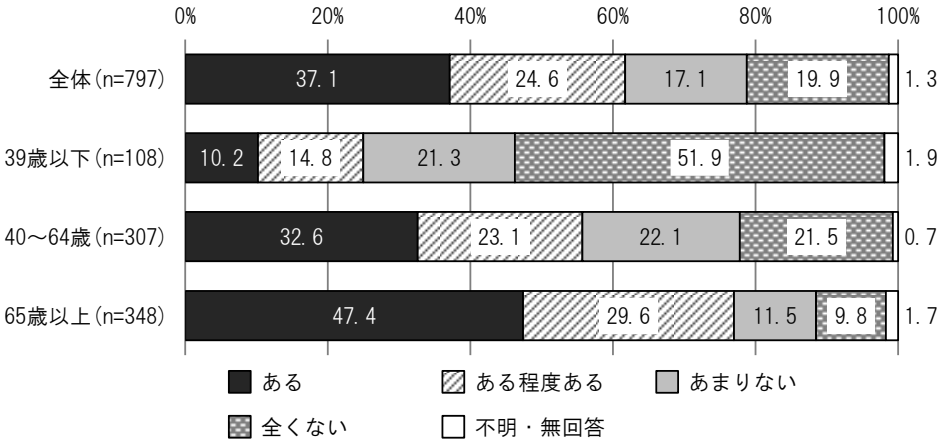
性年代別にみると、40～64 歳の男性で、「非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」の合計について、31.6%と全体に比べ低くなっています。



➢　あなたは、地域の活動に参加したことがありますか　土の指標Ⅴ－②

地域の活動に参加したことがあるかについてみると、全体では「ある」が 37.1%と最も多く、次いで「ある程度ある」が 24.6%、「全くない」が 19.9%となっています。

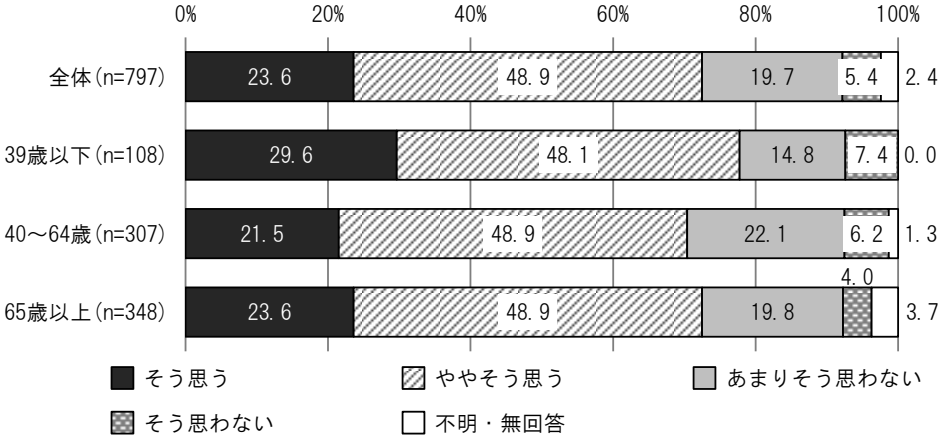
年代別にみると、39 歳以下では「全くない」が 51.9%となっており、全体と比べて高くなっています。一方、65 歳以上では「ある」が 47.4%となっており、全体と比べて高くなっています。



➢　あなたは、あなた自身の人権が保護され、守られていると感じますか　土の指標Ⅴ－③

あなた自身の人権が保護され、守られていると感じるかについてみると、全体では「ややそう思う」が 48.9%と最も多く、次いで「そう思う」が 23.6%、「あまりそう思わない」が 19.7%となっています。

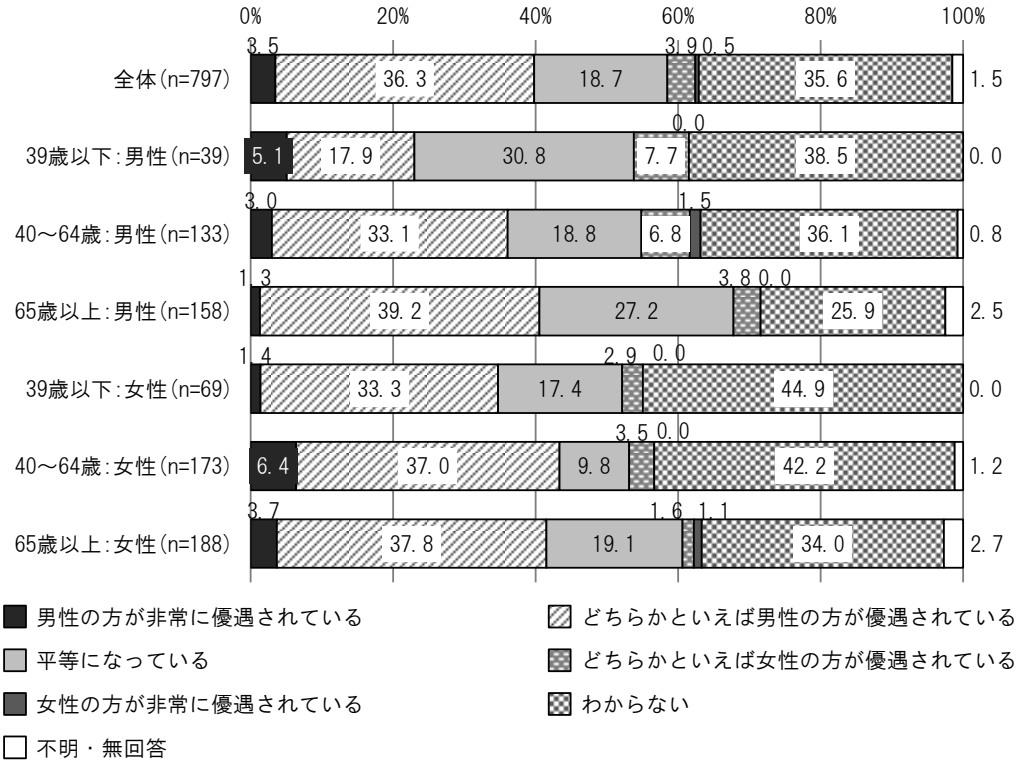
年代別にみても、大きな差はみられません。



➢　あなたは男女の地位が平等になっていると思いますか　土の指標Ⅴ－④

男女の地位が平等になっていると思うかについてみると、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 36.3%と最も多く、次いで「わからない」が 35.6%、「平等になっている」が 18.7%となっています。

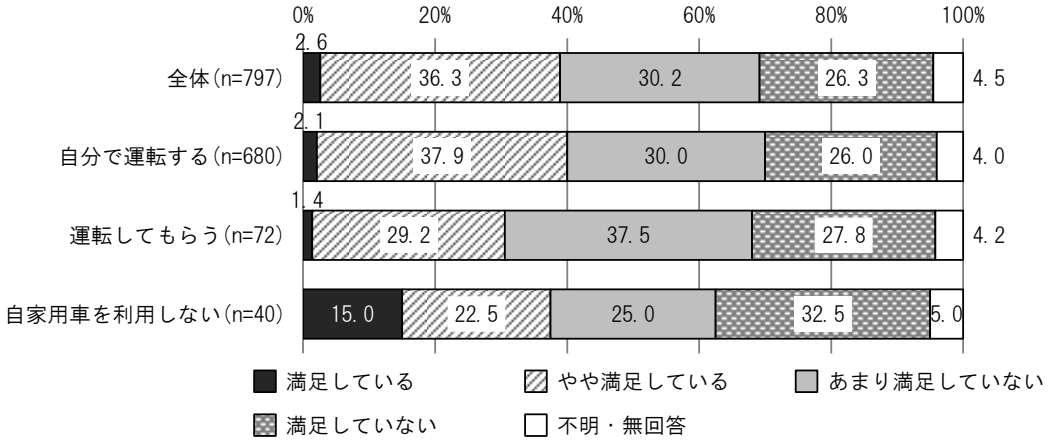
性年代別にみると、40～64 歳の女性で「平等になっている」が 9.8%となっており、全体と比べて低くなっています。



➢　市内の公共交通機関に満足していますか　土の指標Ⅴ－⑧

市内の公共交通機関に満足しているかについてみると、全体では「やや満足している」が 36.3%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が 30.2%、「満足していない」が 26.3%となっています。

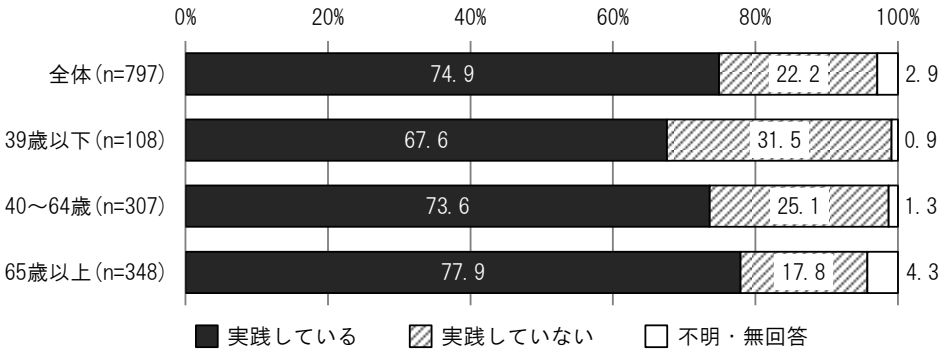
性年代別にみると、日常の移動手段として家族等に運転してもらうと答えた人では、「満足している」「やや満足している」と答えた割合が 30.6%となっており、全体と比べて低くなっています。



➢　あなたは、省エネなどの環境への負荷を軽減するための行動を実践していますか　土の指標Ⅵ－③

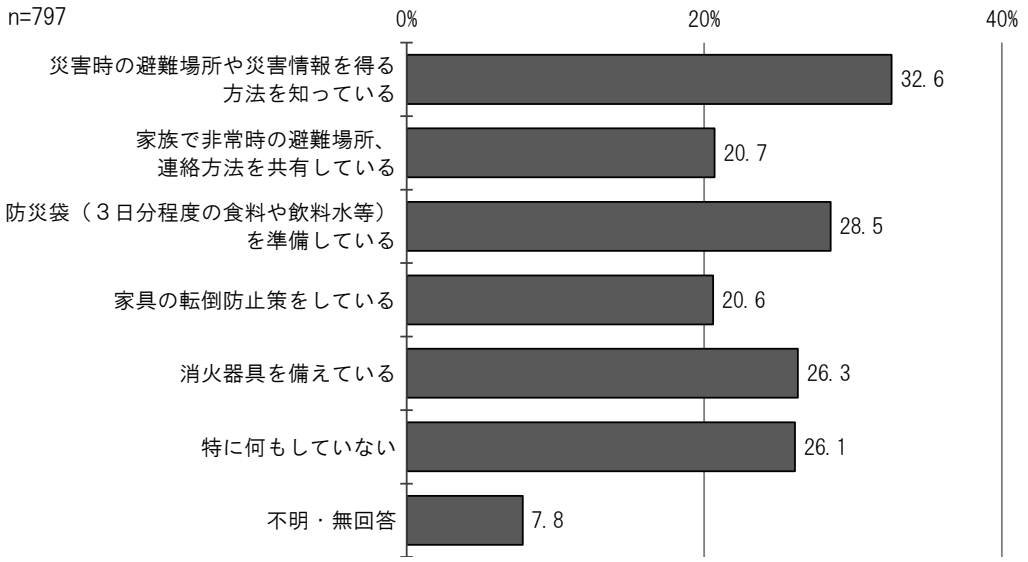
省エネなどの環境への負荷を軽減するための行動を実践しているかについてみると、全体では「実践している」が 74.9%、「実践していない」が 22.2%となっています。

年代別にみると、39 歳以下では「実践している」が 67.6%となっており、全体と比べて低くなっています。



➢　あなたは、地震・火災・豪雨等の災害に対して何か備えをしていますか　土の指標Ⅵ－④

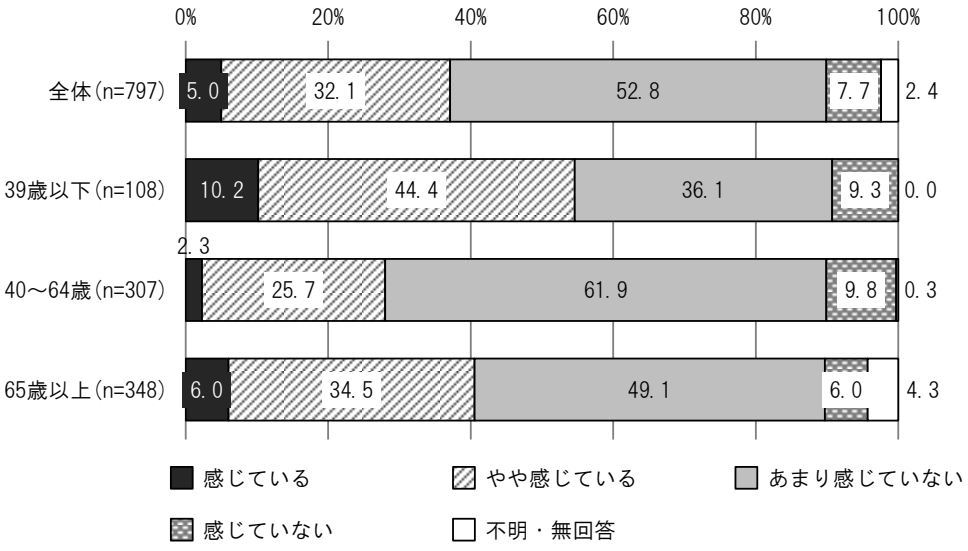
地震･火災･豪雨等の災害に対して何か備えをしているかについてみると、「災害時の避難場所や災害情報を得る方法を知っている」が 32.6%と最も多く、次いで「防災袋（3日分程度の食料や飲料水等）を準備している」が 28.5%、「消火器具を備えている」が 26.3%で、「特に何もしていない」は 26.1%となっています。



➢　あなたは、桜川市の防災整備により安全な住環境が保たれていると感じていますか　土の指標Ⅵ－⑤

桜川市の防災整備により安全な住環境が保たれていると感じているかについてみると、全体では「あまり感じていない」が 52.8%と最も多く、次いで「やや感じている」が 32.1%、「感じていない」が 7.7%となっています。

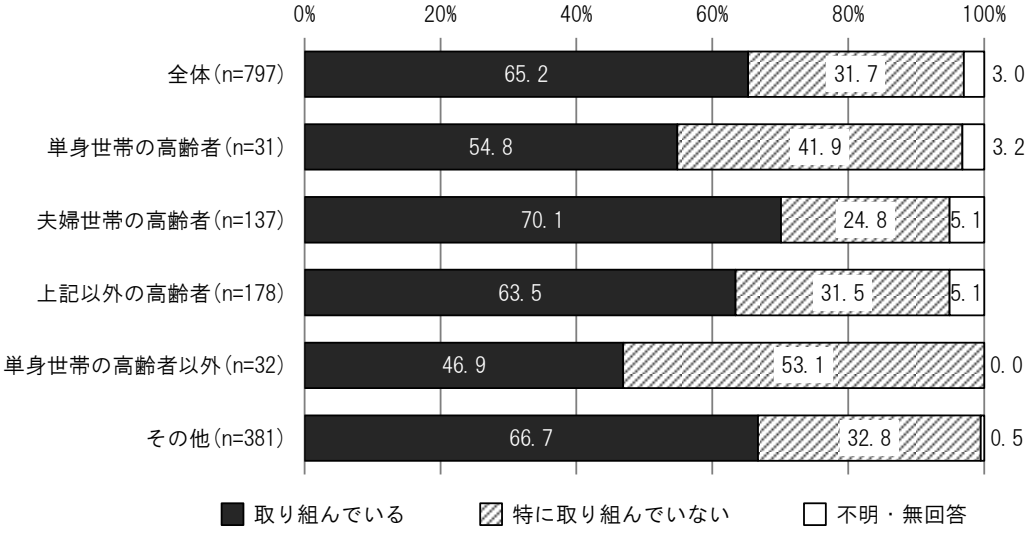
年代別にみると、40～64 歳では「感じている」「やや感じている」が全体に比べ低くなっています。



➢　あなたは、日常生活の中で犯罪や消費者トラブルにあわないように取り組んでいますか　土の指標Ⅵ－⑥

日常生活の中で犯罪や消費者トラブルにあわないように取り組んでいるかについてみると、全体では「取り組んでいる」が 65.2%、「特に取り組んでいない」が 31.7%となっています。

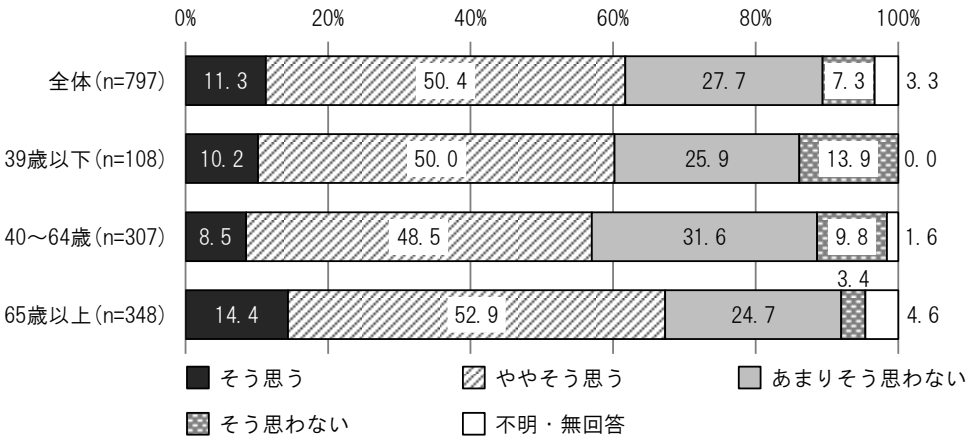
年代・世帯構成別にみると、「特に取り組んでいない」について、単身世帯では「取り組んでいる」が、全体と比べ低くなっています。



➢　あなたは、市政情報が十分に提供されていると思いますか　土の指標Ⅵ－⑦

市政情報が十分に提供されていると思うかについてみると、全体では「ややそう思う」が 50.4%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 27.7%、「そう思う」が 11.3%となっています。

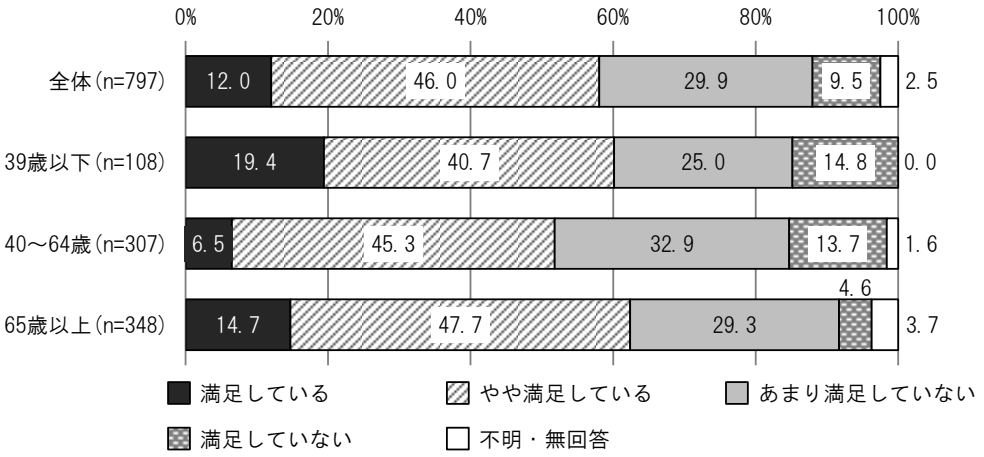
年代別にみると、65 歳以上で「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が 67.3%となっており、全体と比べて高くなっています。



➢　あなたは、市の職員の仕事ぶりに満足していますか　土の指標Ⅵ－⑨A

市の職員の仕事ぶりに満足しているかについてみると、全体では「やや満足している」が 46.0%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が 29.9%、「満足している」が 12.0%となっています。

年代別にみると、40～64 歳では「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合が 51.8%となっており、全体と比べて低くなっています。



小中学生アンケートの概要

調査の概要

調査目的	桜川市第３次総合計画の検討において市内小・中学生の意見を反映させるため、各学校を通して児童生徒全員を対象とするアンケートを実施しました。
実施概要	市内公立小・中学校、義務教育学校に通う児童（小学校５年生相当以上）・生徒全員（1,359 人）を対象として調査を実施し、1,103 件（回収率 81.2%）の回答がありました。
調査期間	2025 年９月５日～10 月７日

調査結果の概要



※デザインは今後調整

小・中学生 約1,000人に聞きました！



桜川市のもっとよくしたほうがいいところ

桜・山桜　10件

- 桜の木をもっと増やす

交通・立地・道路　79件

- 道路・通学路の見通しや凸凹、ヒビを直す
- さくらすの開館時間や夜間にバスを走らせる
- 駅周辺を活性化させる

インフラ・防災・防犯　53件

- 公共施設をさらに充実させる
- 市役所をきれいにする
- 事件や事故を少なくする
- 騒音（暴走族）対策をすすめる

歴史・寺社仏閣・町並み　5件

- 町並みを活かした活動を増やしてほしい

自然・田舎・景観　51件

- ポイ捨てを少なくする
- 環境への配慮をさらに進める

まちの利便性　164件

- お店や飲食店を増やす
- 本屋さんやCD屋さん、アニメグッズの販売店やゲームセンターがほしい
- 道の駅が欲しい
- 温浴施設（温泉、サウナ）が欲しい

学びと体験の環境　95件

- 英語教育を充実させる
- 電子図書館を充実させる
- 障害のある子や児童福祉センターにいる人を支える

スポーツ　6件

- 色々なスポーツができるところを増やす

食べ物　16件

- ソウルフードをつくる
- ごはんを食べられるところを増やす

イベント・行事・祭　14件

- 文化財を活かしたイベントを増やす
- 市内・近隣で祭りの日程が被らないようにする
- eスポーツのイベントを開く

観光・地域資源・PR　55件

- SNSを使ってPR活動をすすめる
- 桜川市の魅力をまとめて紹介する本や、グッズ（カルタやおもちゃ）をつくる
- SNSで映えるスポットをつくる

コミュニティ・ひと・集落　8件

- こどもと地域の人との交流をもっと増やす

人口減少対策　39件

- 桜川市に住むこどもが大人になった時に都会に行かないようにするための対策をたてる
- 若者が働く場を増やす
- 誰でも住みやすい環境や支援制度をつくる

将来の夢や、やりたいことが「ある」と答えた方にうかがいます

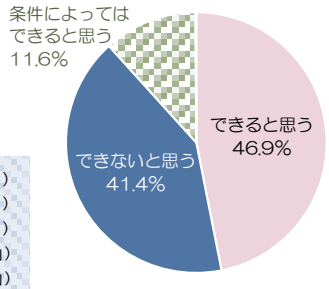


あなたの「将来の夢・やりたいこと」は、
桜川市に住んでいてできることだと思いますか？



「できない」が41.4%。
将来の夢をかなえながら桜川に
住み続けられるまちにすることが必要だね

具体的には…？



こんな分野で「できない」が多いです

「観光・レジャー」	（17人中 77%が「できない」）
「アーティスト・芸能関係」	（18人中 67%が「できない」）
「情報通信・IT 」	（13人中 62%が「できない」）
「音楽・映像・漫画・クリエイター」	（26人中 54%が「できない」）
「学者・専門家」	（25人中 48%が「できない」）
「運輸・土木」	（26人中 46%が「できない」）

考察

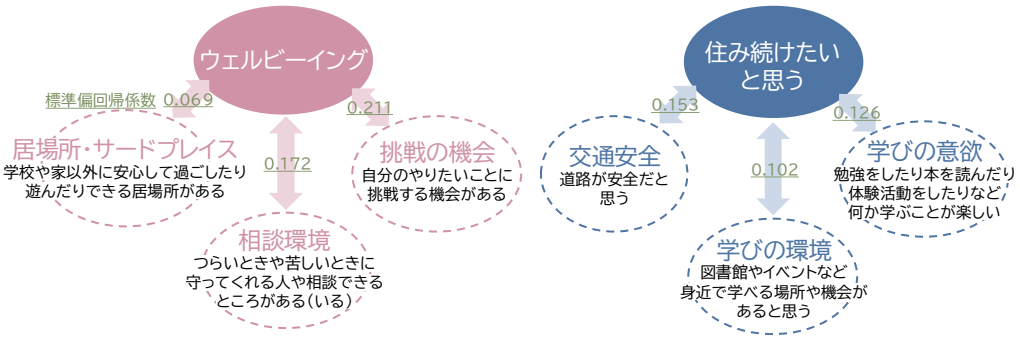
色々な夢を叶えるための、企業誘致やテレワーク環境の整備、働き方の多様化などのほか、「実はこんな仕事が既にある」ということを学生に伝えることも必要ですね！



ウェルビーイング（自分らしく幸せに生きられる実感）の高さ　住み続けたいと思うか　に対して
どのような取組の効果があるかを調べるために、それぞれの項目の　相関　を調べました。

2つ以上の物事について、片方の物事がもう一方に及ぼす（及ぼされる）影響の大きさ。高校の数学Ⅰで学習します。

相関が高かった取組



考察

居場所がある／相談できる／挑戦の機会があるほどウェルビーイングが高い傾向が、
交通安全や学びの環境を実感している／学びの意欲があるほど住み続けたいと思う傾向がみられました。
ウェルビーイングや住み続けたいと思う意向を高めるために、これら6つの取組を続けていくことが効果的だと考えられます。
さらに、現在は相関がみられなかった「挑戦の機会⇔住み続けたいと思う」などに注目し、こども・若者が挑戦の中で桜川の良さを発見し、「住み続けたいと思う」へとつなげるための新たなアイデアが必要です。

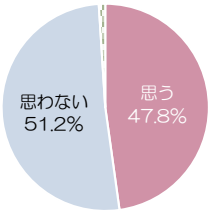


桜川市のまちづくりに、意見を伝えたいと思いますか？



「思う」が47.8%。
およそ半分の人が
意見を伝えたいと思っています

そのためには…？





桜川市役所に意見を伝えるためにどうすればよいと思うか

1. 今回のようなアンケートをする（68.6%）
2. 学校の授業などで話し合う時間をつくる（41.3%）
3. こども・若者が集まって話し合うイベントを開く（37.4%）

今回、みなさんからいただいたご意見を、未来の桜川市をつくる「総合計画」へと反映していきます。
市役所では、みなさんのご意見を踏まえながら、市役所に意見を伝えられるアンケートやイベントなどを、
これからも実施する予定です。その時には、改めてご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします！



総合計画策定に向けたワーキング会議「桜川まちづくりミーティング」の概要

実施の概要

区分		日時	内容
市民ワーキング	第１回	2025 年 12 月６日	見つけよう！桜川市の魅力 桜川市の魅力や、新総合計画の１つのテーマとなるウェルビーイング（幸せ）を感じる場面について、参加者同士のグループワークで共有しました。
	第１回の反映		参加者により挙げられた「魅力」「ウェルビーイング」をもとに、15 の施策分野を分類し、その後のワーキングの進行や総合計画の体系に反映しました。
	第２回	2025 年 12 月 20 日	想像しよう！10 年後の理想の桜川市 各施策分野に分かれて、「今ある幸せ」「新たに創り出す幸せ」「課題」「必要な取り組み」を挙げました。
	第３回	2026 年１月 24 日	形にしよう！私たちのアクションプラン 各施策分野において目指す方向性を整理したうえで、その実現のために必要な取り組みを検討しました。
	第２・３回の反映		参加者により挙げられた「幸せ」や「方向性」を踏まえながら、具体的な事業を突合させ、各分野の方向性を「花の目標」「幹の目標」「土の目標」の３段階の枠組に整理しました。
市民・職員合同ワーキング（計６回）		2026 年６月 13 日・20 日・28 日	事務事業や新規事業等をもとに土の目標ごとに整理した具体的な取り組み内容を確認し、「もっとこんな取り組みがあれば良い」「この取り組みは重点的に進めるべき」といった区分で意見を挙げました。
職員ワーキング（合同ワーキングの反映）		2026 年７月 24 日・27 日・29 日	合同ワーキングに意見全件について、計画書に反映するもの、具体的な事業運営に反映するもの、将来的な検討課題とするものの３区分に分類する作業を通して、担当課へとフィードバックしました。

市民ワーキングの主なご意見と計画の柱立てへの反映状況

本計画の施策体系は、市民ワーキングにおいて挙げられた「こんな幸せが・地域が 10 年後の桜川市で実現していてほしい」というご意見をもとに柱立てを行いました。

その元となったご意見のうち主なものを抜粋して掲載します。

ご意見（こんな幸せが・地域が実現してほしい）	計画への反映
・様々な祝金が支給されていて良い ・子育て世帯のつながりや交流が増えてほしい ・安心して子育てできる環境を整備してほしい ・子育てを重点と捉えた市政運営を進めてほしい	施策１　こどもと子育て世代の幸せの向上　として体系化
・テストで良い点を取ったときや、外国の人とコミュニケーションを取れたときに幸せを感じる ・体験学習活動に参加する人が増えてほしい ・地域と学校が交流して協働的な学びを実現させてほしい	施策２　教育・青少年健全育成の充実　として体系化
・石材業が身近にあることが良い ・雇用があって、若い人が残る・来るまちにしてほしい ・常陸秋そば等、特徴的な地域資源を活かした観光振興を進めることで、桜川市が有名になってほしい	施策３　地域産業の振興　として体系化
・便利なトンネルができたのは嬉しい ・安心して通学できる道が整備されていてほしい ・除草が行き届いた道にしてほしい ・道路についての意見を市に報告しやすい仕組みを作ってほしい	施策４　道路網・交通安全の充実　として体系化
・メリハリのあるまちづくりを進めてほしい ・市街地の空き地を活用してほしい ・味、料金で満足できる上下水道を実現してほしい	施策５　土地利用・住環境・上下水道　として体系化
・郷土史を学んでいるとき、語り合っているときに幸せを感じる ・筑波山や笠間・益子観光とあわせて寄ってもらえる、主役になるまちになってほしい ・観光した人にもう一回行きたいと思わせられるまちになってほしい ・市全体で桜を誇り、育てていてほしい ・地域のポテンシャルを活かして稼げる観光地を創ってほしい	施策６　観光・文化財活用の推進　として体系化
・若い人が桜川市で生活していきたいと思える市になっていてほしい ・流出した人がＵターンしたくなるまちになっていてほしい ・桜川を知ってもらう、地域に参加してもらう場が増えてほしい	施策７　地域と暮らしのプロモーション　として体系化
・なるべく運動して、規則正しい生活を送れることが大切 ・病院がたくさんあるのは良いところ ・健康講座や健康器具等、みんなが健康になるまちづくりを充実させてほしい	施策８　健康・医療の充実　として体系化
・図書館で好きに過ごしたり、創作活動、音楽、推し活等自分らしく過ごしている時間に幸せを感じる ・スポーツのイベントや運動できる場を増やしてほしい	施策９　生涯学習・スポーツの充実　として体系化

ご意見（こんな幸せが・地域が実現してほしい）	計画への反映
・近所の人とあいさつや立ち話、すみつかり（郷土料理）の交換ができたときに幸せを感じる ・ボランティア活動をしている人がたくさんいるところが良いところだと思う ・多世代での交流が盛んになってほしい	施策 10　地域共生社会の実現　として体系化
・高齢者、障がい者が楽しめる場所やイベントを増やしてほしい ・高齢者や障がい者を見守るボランティア等の体制を充実させてほしい ・どんな人でも気軽に行ける居場所があってほしい	施策 11　福祉支援の充実　として体系化
・水戸にも下館にも通える立地と交通が良いと感じる ・免許を返納しても好きなときに行きたいところに行けるまちであってほしい ・電動キックボードやデリバリーサービス等、交通手段を補完するサービスも広がってほしい	施策 12　公共交通の充実　として体系化
・景色がきれいで、空気が澄んで、星空がきれいに見えるのが良い ・太陽光発電に限らない、多様な次世代再生エネルギーを拡充させてほしい ・不法投棄の対策を進めてほしい	施策 13　循環型社会・生活環境　として体系化
・治安が良いと感じる ・詐欺へのリテラシーが高いまちになってほしい ・消防、防災の持続可能な体制を考える必要がある	施策 14　消防・防災・防犯　として体系化
・市の政策に対する市民の関心が一層高いまちになってほしい ・若年層の利用が多い Instagram を含め、幅広いＳＮＳを活用して多くの人に広報を届けてほしい ・行政のデジタル化を進めてほしい	施策 15　行財政運営　として体系化

合同ワーキングの主なご意見と計画検討における反映状況

施策	ご意見	計画への反映内容等
1　こどもと子育て世代の幸せの向上	桜川の良い子育て環境を知る機会をつくる必要があると思う。	「子育てに関する情報を効果的に発信する体制を整備します」という項目を新規に追加しました。
2　教育・青少年健全育成の充実	給食で桜川の食材をもっと使う。有機食材を使った給食を魅力として、移住増につなげてほしい。	学校給食の項目について、「地元食材を取り入れた」という表現を追加しました。
3　地域産業の振興	農作物のブランド化とともに、市外へのＰＲを進めてほしい。	農産物のアピールの項目について、地産地消の促進に加えて「市外への市場開拓」という表現を追加しました。
	企業だけでなく学校（大学・専門学校）も呼び込む。	教育機関の誘致の実現性は検討が必要なものの、企業以外にも視野を広げるという趣旨を踏まえて、単に「企業を呼び込み」としていた箇所を「企業等を呼び込み」へと修正しました。
11　福祉支援の充実	地域において認知症の方への対応の仕方が課題だと感じる。	認知症に対する正しい理解や知識の普及を進めるという意味で、「新しい認知症観に基づき」という表現を追加しました。
12　公共交通の充実	運行を継続できるかどうか、バスの財源が課題に感じる。	公共交通体系の見直しについて、「地域公共交通を維持するため～」という表現を追加しました。
14　消防・防災・防犯	各地区において、消防団員の確保が難しい。	消防団について、「適正規模の検討を行います」という表現から踏み込んで、「組織再編に伴う車両と車庫等の更新を行います」へと修正しました。

上記の他にも、ご確認いただいた計画案にある事業を「一層進めてほしい」といったご意見や、具体的な事業について「こんな風に取り組んでほしい」といったご意見を多数いただきました。本計画書の各施策ページにおいて、より多くのご意見を掲載しています。



各指標の設定根拠

項目		実績値	目標値	取得手法・設定根拠
花の指標	人口	35,543 人 2025 年度	28,807 人を堅持 2036 年度	国勢調査より。人口目標値から割り戻した目標値を設定。
	幸福度	6.67 点 2025 年度	7.57 点 2036 年度	市民アンケート調査より。10 点満点での平均点。もとから「10 点」以外の人全員が、１点ずつ高くなったと想定した目標値を設定。
政策Ⅰ幹の指標	出生数	112 人 2025 年度	137 人 2031 年度	常住人口調査より。人口目標値から割り戻して設定。
	こどもの定住意向	27.3% 2025 年度	40.0% 2031 年度	小中学生アンケート調査より。「将来、桜川市に住み続けたいと思いますか」に「思う」と答えた割合。人口目標値において転出を半分にする仮定を設定していることを鑑み、住み続けたいと「思わない」と答えた割合（21.6%）の半数ぶん、「思う」割合を高めた目標値としている。
土の指標① 子育てがしやすいまちだと思う市民の割合		40.1% 2025 年度	50.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「あなたは、桜川市は子育てしやすいまちだと思いますか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標② 子育てが楽しいと感じる保護者の割合		－	90.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。類似する調査の過去の結果を踏まえて目標値を設定。
土の指標③ 地域に安心できる居場所があると思うこどもの割合		85.9% 2025 年度	93.0% 2031 年度	小中学生アンケート調査より。「あなたには、学校や家以外に、安心して過ごしたり遊んだりできる居場所があると思いますか」に「思う」と答えた割合。「思う」以外の割合を概ね半分にする水準として目標値を設定。
土の指標④ 学校が楽しいと思う児童生徒の割合		小学 97.0% 中学 94.0% 2025 年度	小学 100.0% 中学 100.0% 2031 年度	小中学生アンケート調査より。施策の目指す姿として 100%を目標値として設定。
土の指標⑤A 学力診断テスト結果（県比較）		小学＋14.6% 中学＋5.3% 2025 年度	小学＋16.6% 中学＋7.3% 2031 年度	県学力診断におけるテスト結果（県平均正答率との比較）。過去の結果の推移をもとに目標値を設定。

項目	実績値	目標値	取得手法・設定根拠
土の指標⑤B 体力・運動能力調査結果（県比較）	小学＋25.37% 中学＋20.33% 2025 年度	小学＋27.4% 中学＋22.3% 2031 年度	体力・運動能力調査結果（県平均との比較）。過去の結果の推移をもとに目標値を設定。
土の指標⑥ やりたいことに挑戦できたこどもの割合	42.9% 2025 年度	60.0% 2031 年度	小中学生アンケート調査より。「あなたは、この１年間で、自分がやりたいことに挑戦する機会はありましたか」に「たくさんあった」と答えた割合。こども調査における、各項目に対する実感度のうち「やりたいことに挑戦できた割合」は低く、これを各項目中の平均程度に引き上げる数値として目標値を設定。

項目		実績値	目標値	取得手法・設定根拠
政策Ⅱ 幹の指標	労働生産性	県平均の 0.63 倍 2024 年	県平均の 1.0 倍 2029 年	経済センサスより。売上を従業者数で割って算出。県平均以上とすることで、産業・雇用の流出を防ぐ。 なお、桜川市の 2024 年数値は 1,973 万円となっている。
	就労者数	12,874 人 2024 年	12,476 人を 堅持 2029 年	経済センサスより。５か年で目標人口における 20～64 歳人口が 11.9%減少するため、この影響を踏まえた数値から１割の増加を見込む。
土の指標① 農業所得総額		5.46 億円 2024 年	６億円 2029 年	行政資料より。近年、所得総額は増加傾向にあるものの気候等の影響を受けやすいため、2024 年実績（5.46 億円）から約１割増となる達成目安として６億円を設定。
土の指標② 産業振興に係る各種事業を利用した事業者数		109 件 2025 年度単年	600 件 2027～2031 年度 累計	①中小企業事業資金融資利子補給及び保証料助成、②桜川市住宅リフォーム助成事業、③桜川市賑わい創業支援事業、④桜川市立地企業支援事業補助金、⑤桜川市地域特産品開発支援補助金、⑥石材業振興事業補助金、⑦真壁石燈籠第６次振興事業計画の利用事業者数。2025 年度の単年実績（109 件）の５か年単純積算（545 件）に対し、約１割増（年平均 120 件ペース）を見込んで 600 件に設定。
土の指標③ やりたい仕事を見つけやすいと思う市民の割合		1.9% 2025 年度	20.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「あなたが暮らしている地域では、やりたい仕事をみつけやすいと思いますか」に「非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた割合。地域幸福度指標調査令和８年版における茨城県平均の水準を設定し、域外への仕事を要因とする流出を防ぐ。

項目	実績値	目標値	取得手法・設定根拠
土の指標④ 道路が安全だと思う市民の割合	22.7% 2025 年度	33.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「誰もが市内の道路を安全に通行できていると思いますか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標⑤ 円滑に移動できる道路網があると思う市民の割合	－	70.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「円滑に移動できる道路網があると思いますか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。実績値はないものの、ワーキングでも好意的な意見が多かったことから、70.0%を目標値として設定。
土の指標⑥ 都市整備や地域開発に満足している市民の割合	－	50.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「都市整備や地域開発に満足していますか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。類似する調査設問の過去の結果を踏まえて目標値を設定。
土の指標⑦A 水道の有収率	61.5% 2025 年度	64.7% 2031 年度	事業実績より算出。有収水量÷配水量で算出。過去の推移をもとに目標値を設定。
土の指標⑦B 公共下水道点検調査計画実施率	12.6% 2025 年度	100.0% 2031 年度	点検調査実施距離数÷ストックマネジメント計画に基づく点検調査計画距離数。施策の目指す姿として100%を目標値として設定。

項目		実績値	目標値	取得手法・設定根拠
政策Ⅲ 幹の指標	桜川市に関係したいと思う市外の人の割合	－	30.0% 2031 年度	市外モニター調査より。 土の指標⑤認知度が 50%で設定しているため、その中での６割を目標値として設定。
土の指標① 郷土の伝統文化・行事や文化財に愛着心や誇りを感じる市民の割合		49.2% 2025 年度	55.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「郷土の伝統文化・行事や文化財に愛着心や誇りを感じていますか」に「感じている」「やや感じている」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標② 文化を楽しめるまちだと思う市民の割合		－	55.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「住んで・訪れて地域の文化を楽しめるまちだと思いますか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。同じ施策内の土の指標①と同水準の目標値を設定。
土の指標③ 観光スポットやイベントを友人や知人に勧めたいと思う市民の割合		47.4% 2025 年度	58.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「桜川市の観光スポットやイベントを、友人や知人に勧めたいと思いますか。」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。施策の成果として、約 10 ポイントの上昇を目標値として掲げる。

項目	実績値	目標値	取得手法・設定根拠
土の指標④ 桜川市の暮らしに愛着を感じている市民の割合	－	70.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。類似する調査設問の過去の結果を踏まえて目標値を設定。
土の指標⑤ 桜川市の認知度	19.8% 2026 年度	50.0% 2031 年度	市外モニター調査より。目標人口の達成に向け、まずは市外における移住・交流を検討する方を大きく増やす必要があるため、その水準として目標値を設定。

項目		実績値	目標値	取得手法・設定根拠
政策Ⅳ 幹の指標	健康で元気に暮らしていると思う市民の割合	76.3% 2025 年度	86.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「健康で元気に暮らしていると思うか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標① 日頃から健康増進を意識している市民の割合		－	75.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「日頃から健康増進を意識していますか」に「非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた割合。類似する調査設問の過去の結果を踏まえて目標値を設定。
土の指標② 悩みや心配ごとがあるとき、相談先がある、又は知っている市民の割合		－	50.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「悩みや心配ごとがあるとき、相談先がある、又は知っていますか」に「ある／知っている」と答えた割合。類似する調査設問の過去の結果を踏まえて目標値を設定。
土の指標③ 地域で適切な医療を受けられると思う市民の割合		67.6% 2025 年度	78.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「地域（市内及び近隣地域）で適切な医療が受けられていると思いますか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。近年、医療環境の整備により大きく上昇しているが、その一層の浸透を図る水準として目標値を設定。
土の指標④ 日頃から学習活動を行っている市民の割合		21.4% 2025 年度	29.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「日頃から何らかの学習活動を行っていますか」に「ほぼ毎日」「週に１回程度」「月に数回」行っていると答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標⑤ 日頃からスポーツを行っている市民の割合		47.3% 2025 年度	58.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「日頃から何らかの運動やスポーツを行っていますか」に「ほぼ毎日」「週に１回程度」「月に数回」行っていると答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。

項目		実績値	目標値	取得手法・設定根拠
政策Ⅴ幹の指標	地域との交流がある市民の割合	65.1% 2023 年度	70.0% 2031 年度	現状値は健康づくりアンケート、今後の取得は市民アンケート調査より。「地域の人と話や交流する機会」が「よくある」「ときどきある」と答えた割合。きらり健康プランの目標値と整合を図って目標値を設定。
土の指標① 身近に相談できる人がいると思う市民の割合		43.2% 2025 年度	54.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいると思いますか」に「非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた割合。施策の成果として、約 10 ポイントの上昇を目標値として掲げる。
土の指標② 地域の活動に参加したことがある市民の割合		61.7% 2025 年度	72.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「地域の活動に参加したことがありますか」に「ある」「ある程度ある」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標③ 個人の人権が保護されて守られていると感じる市民の割合		72.5% 2025 年度	83.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「あなた自身の人権が保護され、守られていると感じますか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標④ 社会全体として男女が平等に暮らせる環境になっていると感じる市民の割合		18.7% 2025 年度	29.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「男女の地位が平等になっていると思いますか」に「平等になっている」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標⑤ 住み慣れた地域社会への参加ができていると思う障がい者の割合		54.5% 2025 年度	59.5% 2031 年度	障害者計画・障害福祉計画等策定に向けたアンケート調査より。「桜川市は住みやすいまちだと思いますか」に「とても住みやすい」「まあ住みやすい」と答えた割合。施策の成果として、５ポイントの上昇を目標値として掲げる。
土の指標⑥ 生きがいを感じている高齢者の割合		67.6% 2025 年度	78.0% 2031 年度	市民アンケート調査における 65 歳以上回答者の結果より。「生きがいを感じていますか」に「感じている」「やや感じている」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標⑦ 高齢者、障がい者、困窮者等に対する社会福祉施策が充実していると思う市民の割合		－	75.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「高齢者、障がい者、困窮者等に対する社会福祉施策が充実していると思いますか」に「非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた割合。実績値はないものの、上記②③⑤⑥等の水準を考慮し、75.0%を目標値として設定。

項目	実績値	目標値	取得手法・設定根拠
土の指標⑧ 公共交通機関に満足している市民の割合	38.9% 2025 年度	50.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「市内の公共交通機関に満足していますか」に「満足している」「やや満足している」と答えた割合。施策の成果として、約 10 ポイントの上昇を目標値として掲げる。

項目		実績値	目標値	取得手法・設定根拠
政策Ⅵ幹の指標	自然環境保全への市民評価	–	50.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「暮らしている地域では、自然環境を守る取り組みが盛んであると思うか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。他自治体における類似設問の状況をもとに設定。
	安全なまちへの市民評価	–	70.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「安全で安心して暮らせるまちだと思うか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。他自治体における類似設問の状況をもとに設定。
	将来負担比率	21.6% 2025 年度	28.4%以内 2031 年度	決算に基づき算定。茨城県内市町村の 2024 年度決算に基づく将来負担比率の平均値を目標値として設定。
土の指標① １人１日当たりのごみ排出量		676 グラム 2024 年度	670 グラム 2030 年度	行政資料より。過去の推移をもとに目標値を設定。
土の指標② 温室効果ガスの排出量		36.3 万 t-CO_2 2023 年度	29.7 万 t-CO_2 2029 年度	環境省「自治体排出量カルテ」より。桜川市地球温暖化対策実行計画等との整合を図り設定。
土の指標③ 自然環境を守る行動を行った市民の割合		74.9% 2025 年度	85.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「省エネ等の環境への負荷を軽減するための行動を実践していますか」に「実践している」と答えた割合。前期計画では、取り組んでいない市民のうち約半数の行動変容を目標として数値を設定。
土の指標④ 地震・火災・豪雨等の災害に対して何か備えをしている市民の割合		73.9% 2025 年度	85.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「地震・火災・豪雨等の災害に対して何か備えをしていますか」に「特に何もしていない」と答えた方を除いた割合。前期計画では、取り組んでいない市民のうち約半数の行動変容を目標として数値を設定。
土の指標⑤ 防災整備や防災への取り組みにより安全な住環境が保たれていると感じている市民の割合		37.1% 2025 年度	48.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「桜川市の防災整備により安全な住環境が保たれていると感じていますか」に「感じている」「やや感じている」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。

項目	実績値	目標値	取得手法・設定根拠
土の指標⑥ 日常生活の中で犯罪や消費者トラブルにあわないように取り組んでいる市民の割合	65.2% 2025 年度	76.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「日常生活の中で犯罪や消費者トラブルにあわないように取り組んでいますか」に「取り組んでいる」と答えた割合。施策の成果として、約 10 ポイントの上昇を目標値として掲げる。
土の指標⑦ 行政の情報が十分に提供されていると感じている市民の割合	61.7% 2025 年度	68.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「市政情報が十分に提供されていると思いますか」に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標⑧ 行財政改革の計画達成度	90.9% 2025 年度	95.0% 2031 年度	行財政改革の計画達成度より。過去の推移をもとに目標値を設定。
土の指標⑨A 市役所の職員の働き方に満足している市民の割合	58.0% 2025 年度	68.0% 2031 年度	市民アンケート調査より。「市の職員の仕事ぶりに満足していますか」に「満足している」「やや満足している」と答えた割合。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。
土の指標⑨B 職員研修を受けたことにより、職務により前向きに取り組むことができた職員の割合	92.7% 2025 年度	99.0% 2031 年度	職員アンケート調査より。過去のアンケート調査結果の推移をもとに設定。